

湘南信金

「地域と歩み続ける」

石渡理事長、神大で講義

湘南信用金庫（本店・横須賀市大滝町）が神奈川大学で開設した寄付講座「現代の経済問題」で29日、同大OBで同信金の石渡卓理理事長が「経営者としてこれからの若者に期待すること」をテーマに講義した。

同信金の寄付講座は9月、同大の横浜キャンパス

（横浜市神奈川区）でスタート。「顧客本位の営業活動」などを題材にした全14回で、職員らが講師を務め、主に経済学部、学生向けに企業支援の実務や地域経済の成り立ちなどを話している。

6回目のこの日は、石渡理事長が登壇。約30人の学

生を前に、経営再建を果たした経験を踏まえて「信用金庫の目指す姿勢は『揺れても沈まず』。どんな状況下でも地域とともに歩み続ける」などと説いた。

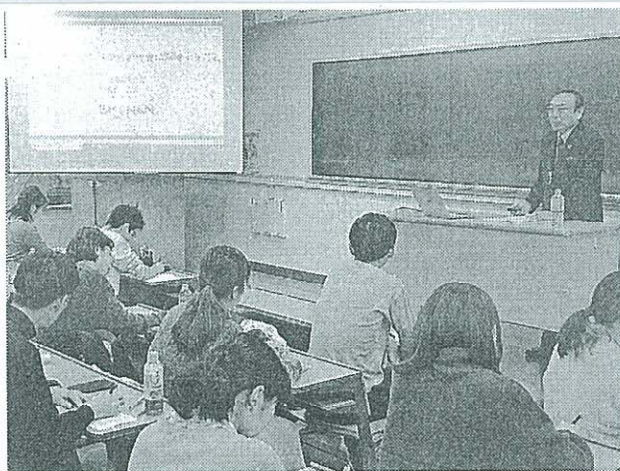
自らの学生時代を「主たる成績はAではなくB。それも6割を占めた」と回顧。「それでも理事長に就いた。成績が良いに越したことはないが、悪くても諦めるな」と、3、4年生向けの講座を念頭にユーモアを交えて励ました。

また、「仁」は助けた

めに貸す、「義」はきちんと返すこと」など「宮尊徳の教えを引用。「働くこと

の最終的な目的は『世のため人のため』であってほしい」と呼び掛けた。

（有吉 敏）



寄付講座の講師として母校で後輩たちへ講義する石渡理事長＝横浜市神奈川区の神奈川大